

第107期 株主通信

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

証券コード：4536



すべては目の健康のために

海外事業の成長により、
当期も増収を達成。
新製品を発売し、
世界の眼科医療へ貢献。



代表取締役会長兼CEO
黒川 明

代表取締役社長兼COO
谷内 樹生

<基本理念>

天機に参与する

肝心な事は何かを深く考え、どうするかを
明確に決め、迅速に実行する。

<基本使命>

「目」をはじめとする特定の専門分野に努力を傾
注し、これによって参天ならではの知恵と組織
的能力を培い、患者さんと患者さんを愛する人
たちを中心として、社会への寄与を行う。



2018年度の業績

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

参天製薬グループでは、長期経営ビジョンである「世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー」の実現のため、市場を上回る成長、そして利益率と資本効率の維持・向上に積極的に取り組んでいます。

2018年度におきましては、グループの約3分の2を占める日本において4月に薬価改定がありましたが、国内重点製品の順調な成長およびアジアを中心とする海外事業の大きな成長により、売上収益は2,340億2千6百万円（前期比4.0%の増収）、本業での実力を示すコア営業利益は482億3千万円（同6.3%の増益）となりました。アジアにおける成長は目ざましく、売上収益では前年と比べて20%を超える伸びを示しています。

参天製薬グループでは特に失明に至ることもある緑内障に注力しており、緑内障・高眼圧症治療剤としては世界で初めての作用機序を持つエイベリス点眼液0.002%を2018年11月に日本で発売し、現在、アジアおよび米国でも開発を進めています。また、眼科ソリューションプロバイダーとして「見える喜び」へのより幅広い貢献を目指して、日本では、新しいコンセプトの白内障手術向け眼内レンズを2019年4月に発売しました。米国では、2020年の発売を目指して緑内障手術治療に用いられるデバイスDE-128（PRESERFLO MicroShunt）の開

発を進めるとともに、この緑内障治療デバイスの分野でのリーディングカンパニーであるGlaukos社と米国での独占販売の代理店契約を締結し、より早く、より多くの患者さんにこの製品をお届けすることを目指して販売体制の構築にも着手しています。

2019年度におきましても、重点製品の成長はもとより、今後も高い市場成長が見込まれるアジア市場での成長を軸として、売上収益は前期比6.0%増の2,480億円、コア営業利益は同5.7%増の510億円を見込んでおり、増収・増益を達成します。

配当方針

参天製薬グループでは、株主様への利益還元を経営上の重要課題と位置付け、今後も、安定的・持続的な配当を実施していく考えです。2019年度においては、中間配当13円、期末配当13円の計26円を予定しています。

これからも参天製薬グループは、基本理念に基づき、世界中の患者さんや眼科医から必要とされる製品・サービスの提供を通じ、眼科に特化した企業として世界の眼科医療に貢献し、持続的な成長を目指してまいりますので、株主の皆さまには、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

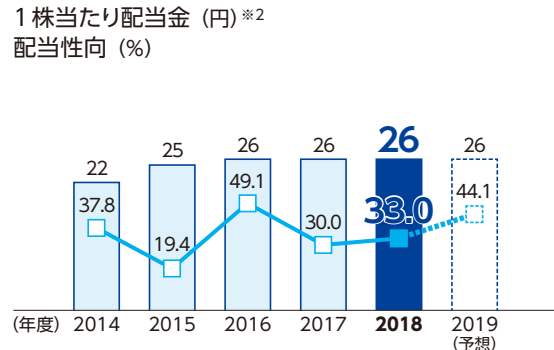
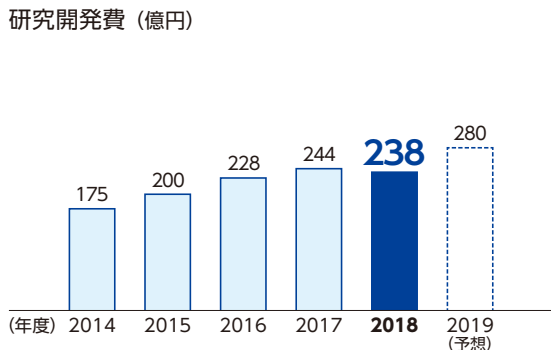
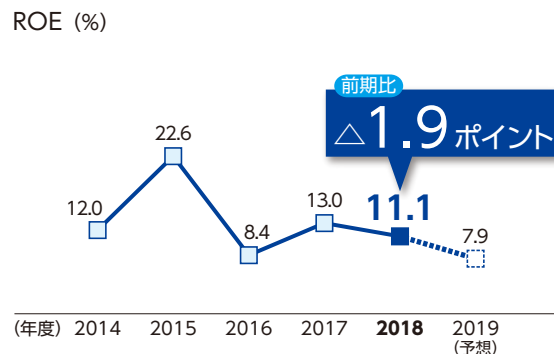
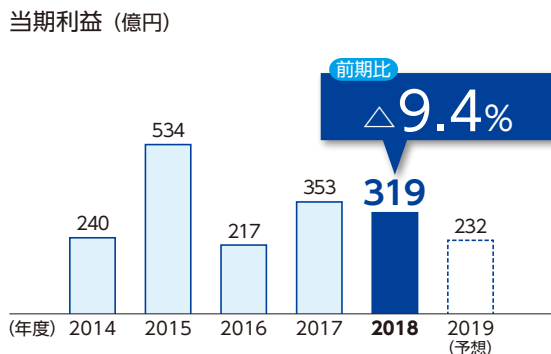
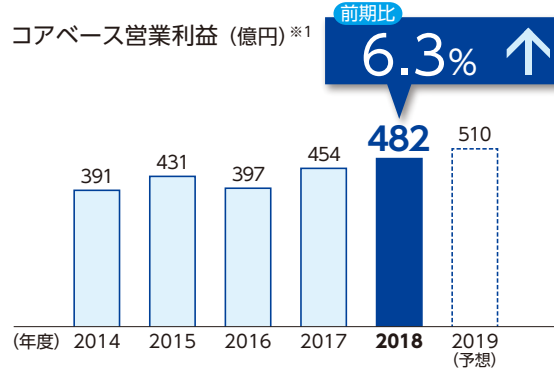
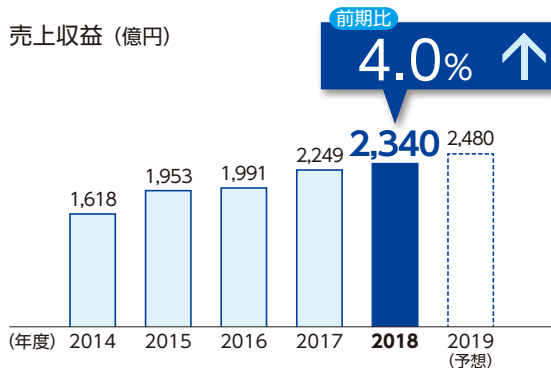
代表取締役会長兼CEO

黒川 明

代表取締役社長兼COO

谷内 樹生

主な経営指標

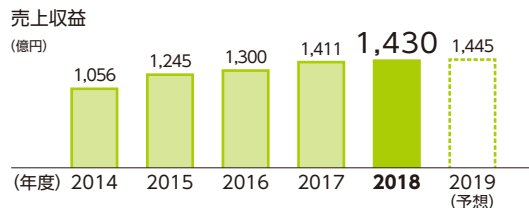


※1 IFRSベースから一部の収益・費用（製品に係る無形資産償却費、その他の収益、その他の費用、金融収益、金融費用）を控除した、コアベース（経常的な業績を示す）による数値です。
 ※2 2015年4月1日に普通株式1株につき5株の割合で株式分割しました。

事業別の概況

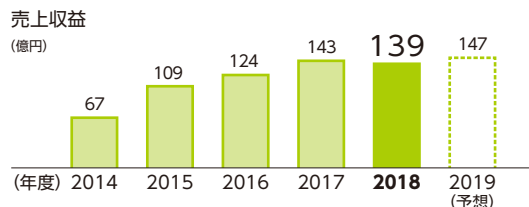
国内 医療用医薬品事業

売上収益は、前期比1.3%増の1,430億円となりました。主力製品では、網膜疾患治療剤領域の「アイリーア^{※3}」が562億円（前期比9.0%増）、抗アレルギー点眼剤領域の「アレジオン」が194億円（同15.4%増）と伸ばしました。



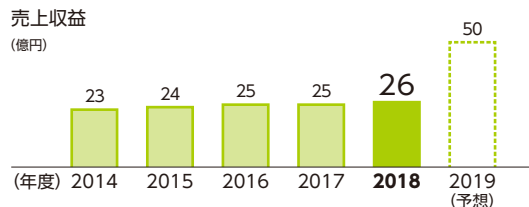
国内 一般用医薬品事業

売上収益は、前期比2.6%減の139億円となりました。「サンテボーティエシリーズ」、新「サンテメディカルシリーズ」、「ソフトサンティアシリーズ」などの高価格帯品に、引き続き注力してまいります。



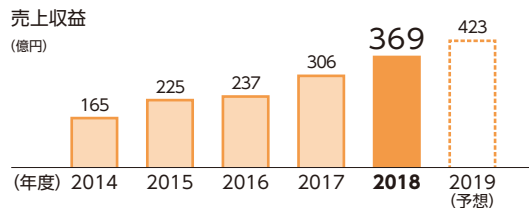
国内 サージカル事業

売上収益は、前期と比べ2.9%増加し、26億円となりました。「エタニティ」シリーズに加え、新製品「レンティス コンフォート」の普及促進活動に引き続き注力してまいります。



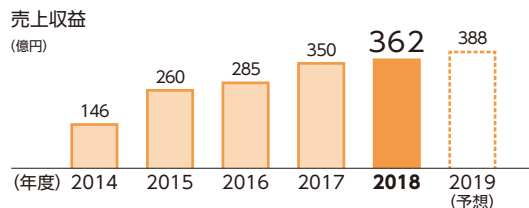
海外 アジア事業

売上収益は、円換算ベースで前期比20.6%増の369億円でした。「ヒアレイン」、「クラビット」等主力品の普及促進活動の展開により、中国や韓国を中心に成長するとともに、アセアン諸国でも高い成長率を維持しています。



海外 EMEA事業

売上収益は、円換算ベースで前期比3.3%増の362億円でした。医薬情報提供などの普及促進に注力した結果、「タフロタン」などの緑内障・高眼圧症治療剤や、角結膜疾患治療剤「アイケルビス」が市場に浸透しています。



※3 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。



「世界で存在感のある スペシャリティ・カンパニー」の実現

- ・真の顧客ニーズ*1を深く考え
- ・競合企業に対する明確な強みをもって
- ・グローバルな競争力・存在感を持つ会社

*1 真の顧客ニーズ：患者さん・生活者・医師・医療従事者の未充足ニーズ

売上収益推移



製造販売元である
バイエル薬品株式会社との
コ・プロモーション製品



米国メルク社より譲り受けた
緑内障関連製品群



2011

2012

2013

2014

2015

2011-13 中期経営計画 ▶ 海外売上比率 16%

- 国内のさらなる基盤強化
- アジア・欧州展開準備完了

2014-17 中期経営計画 ▶ 海外売上比率 30%

- アジア・欧州の成長と収益化
- 米国・その他への展開準備

海外での事業基盤構築・強化

国内での事業基盤・競争力強化

2,340億円

2018-20 中期経営計画

**MTP
2020**

売上成長率

6%以上
(年平均成長率)

コア営業利益率

21%以上
(期間平均)

フルROE

11%以上
(期間平均)

地域特性に合わせた事業展開で、市場を上回る成長を実現

EMEA

- ・グローバルな影響力
- ・アカデミア、KOL※2の取り込み
- ・各種規制対応能力
- ・人材

アジア

- ・高成長市場
- ・潜在性、人口
- ・販売・生産ネットワーク

日本

- ・圧倒的マーケットシェアを構築した事業モデル、ノウハウ
- ・生産・信頼性保証能力

米国

「MTP2020」の次のステージでの収益貢献を目指し、準備を進める。

既存地域 | 日本・EMEAでの経験・知見をアジアに展開することで、成長をさらに加速。これによってグループ全体として市場を上回る成長につなげる。

※2 Key Opinion Leader：治療現場や業界への影響力を有する医師などの専門家



DE-128



2016

2017

2018

2019

2020

長期的成長に向け
眼科特化企業ならではの道筋を具体化

グローバルの新製品価値最大化

白内障向け新概念眼内レンズ
レンティス コンフォート®を発売

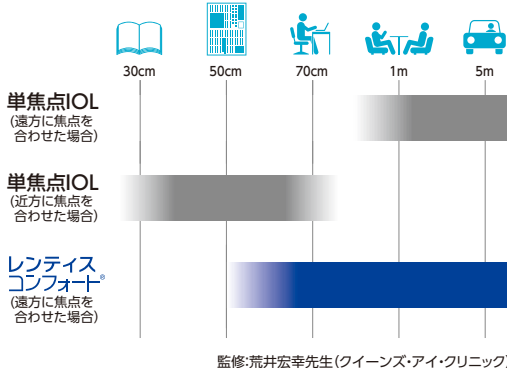
レンティス コンフォート®

レンティス コンフォート® は日本初となる健康保険適用の白内障手術に用いることができる低加入度数 分節眼内レンズです。不快な自覚症状を抑制しながら、遠方から中間距離まで良好な視力を期待できるのが特徴で、従来の単焦点レンズに比べて、メガネを掛けなくても見えると感じる領域が広がることも期待されます。



※ 本品は健康保険適用製品です。

明視域のイメージ



Point

- | 良好な遠方・中間視力
- | 不快な光学的自覚症状を抑制
- | 遠方から中間距離まで焦点深度を拡張

New products

緑内障用デバイス
2019年にDE-128の米国申請を完了予定

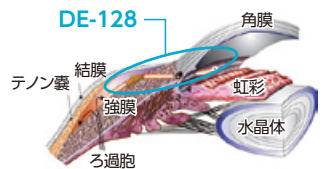


Point

- | 生体適合性の高いSIBS素材
- | 線維柱帯切除術の課題を軽減
- | 白内障手術が不要

緑内障治療薬で十分に眼圧を下降できない重症例には、さまざまな手術治療が行われます。

DE-128は生体適合性の高い素材で作られた、房水の流出を促進するマイクロチューブで、2020年に米国で上市することを目指しています。多くの低侵襲緑内障手術の技術と異なり、白内障手術を併用せずとも、十分な眼圧下降が期待できます。



病的近視に対する光線架橋療法

光を病変部に照射することにより眼球の変形を防ぐ新たな治療法の確立を目指しています。

iPS細胞関連技術を 創薬研究に用いた遺伝子治療薬

産学官連携で日本発の眼疾患に対する遺伝子治療薬の創出を目指しています。

特殊環状ペプチドを用いた 新たな創薬技術を獲得

眼疾患に対する新しい治療選択肢のご提供を目指して、生物製剤や低分子医薬品に加えて、特殊環状ペプチドを創薬手段とすることが可能となります。

R&D

未充足ニーズに応え、
「見える喜び」を
深化する

Patient
Support

患者さんの負担にならない 治療を目指して

- | 防腐剤フリーの点眼液や容器
- | 点眼補助具
- | 容器の識別性の向上
- | 液だれ防止
- | 軽い力でできる点眼

緑内障治療 継続プログラムパッケージ

自覚症状がほとんどないことから、治療を中断する患者さんが多い緑内障の治療継続通院をサポートするパッケージを日本の医療機関に提供。



医薬品の開発状況（臨床段階）

■ 緑内障領域
 ■ 角結膜疾患領域
 ■ 網膜・ぶどう膜疾患領域
 ■ その他疾患領域
 第107期（2018年度）決算発表時点

開発コード	一般名	効能・効果	地域	臨床試験*			申請	承認	発売
				フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3			
DE-111	タフルプロスト/チモロールマレイン酸塩	緑内障・高眼圧症	中国	[Progress Bar]					
DE-117 (エイベリス)	オミデネパグ イソプロピル	緑内障・高眼圧症	米国	[Progress Bar]			2018年9月		
			日本	[Progress Bar]				2018年11月	
			アジア	[Progress Bar]			2019年4月		
DE-126	sepetaprost	緑内障・高眼圧症	米国	フェーズ2b					
			日本	フェーズ2b					
DE-128	緑内障用デバイス	緑内障	米国	フェーズ2/3					
			欧州	[Progress Bar]					
DE-130A	ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	欧州	[Progress Bar]					
			アジア	[Progress Bar]					
DE-076C	シクロスポリン	春季カタル	欧州	[Progress Bar]					2018年10月
			アジア	[Progress Bar]			2018年11月		
			その他	[Progress Bar]			2018年12月		
DE-089	ジクアホソルナトリウム	ドライアイ	中国	[Progress Bar]				2018年9月	
DE-114A	エピナスチン塩酸塩	アレルギー性結膜炎	日本	[Progress Bar]			2018年9月		
DE-109	シロリムス	ぶどう膜炎	米国	[Progress Bar]			2018年12月に、追加のフェーズ3を開始		
			日本	[Progress Bar]					
			欧州	[Progress Bar]					
			アジア	[Progress Bar]			2015年4月		
DE-122	carotuximab	滲出型加齢黄斑変性	米国	フェーズ2a					
DE-127	アトロピン硫酸塩	近視	日本	フェーズ2/3			2019年度上期開始予定		
			アジア	[Progress Bar]					
MD-16	眼内レンズ	白内障	日本	[Progress Bar]					

※ 臨床試験：フェーズ1からフェーズ3までの3段階で実施されます。フェーズ1では、少数の健康な志願者を対象に安全性を確認します。続くフェーズ2では、少数の患者さんを対象に適切な投与量や投与方法を検討・確認します。最後のフェーズ3では、多数の患者さんを対象に安全性・有効性を検証します。

🚩：第107期（2018年度）中間決算発表から進展のあったもの。

2018年

6月 中期経営計画
「MTP2020」を策定



P.6ご参照

7月 平成30年7月豪雨災害に対する
義援金の寄付

9月 抗アレルギー点眼剤DE-114A
(エピナスチン塩酸塩) の製造販売承認を申請

抗アレルギー点眼剤DE-114A (一般名: エピナスチン塩酸塩) について、2018年9月21日付で国内における製造販売承認の申請を行いました。DE-114Aは日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社から導入し、当社がアレルギー性結膜炎の治療を目的として日本で開発した点眼剤で、日本で2013年から販売されている「アレジオン点眼液0.05%」の高用量製剤です。

緑内障・高眼圧症治療剤「エイベリス点眼液
0.002%」の製造販売承認を取得

平成30年北海道胆振東部地震に対する
義援金の寄付

ペプチドリーム株式会社との
包括的創薬共同研究開発契約を締結

P.8ご参照

11月 緑内障・高眼圧症治療剤「エイベリス点眼液
0.002%」を日本で新発売

宇部興産株式会社 (本社: 山口県宇部市、以下宇部興産) とともに、緑内障・高眼圧症治療剤「エイベリス点眼液0.002%」(一般名 オミデネパグ イソプロピル、以下本剤) を日本で発売しました。本剤は、緑内障・高眼圧症の治療を目的として、当社と宇部興産が開発した点眼液です。本剤の有効成



分であるオミデネパグ イソプロピルは、世界初の選択的EP2受容体作用薬で、眼圧下降作用を示す新規作用機序の化合物です。

2019年

1月 タンペレ工場とオペレーション業務のネクスト
ファーマ社への譲渡を決定

フィンランドの当社タンペレ工場とそのオペレーション業務を、創薬・製薬受託機関であるネクストファーマ社に譲渡することを決定いたしました。



2月 抗菌用目薬「サンテ メディカル抗菌」を新発売
一般用眼科薬としてご好評をいただいている「サンテ メディカル」シリーズから、ものもらい (麦粒腫)、結膜炎などを治療する抗菌用目薬「サンテ メディカル抗菌」を新発売いたしました。

3月 世界緑内障週間に、疾患啓発の取り組みを実施
緑内障疾患の啓発活動の一環として、2019年3月10日から3月16日まで世界各地で行われた緑内障疾患啓発活動に協賛し、さまざまな疾患啓発活動を行いました。

「遺伝性眼科疾患に対する遺伝子治療薬の研究開発」が医療研究開発革新基盤創成事業 (CiCLE) に採択され、活動を開始

P.8ご参照

「病的近視に対する光線架橋療法の研究開発」が医療研究開発革新基盤創成事業 (CiCLE) に採択され、活動を開始

P.8ご参照

自己株式の取得・消却を実施

2019年2月21日から2019年3月22日までに行った自己株式取得による株式8,144,000株のうち7,500,000株を2019年3月29日に消却いたしました。なお、消却株数の割合は、消却前の発行済株式総数に対し1.84%になります。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

単元株式数 100株

公告方法

電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL : <https://www.santen.co.jp/jp/pn>

証券コード 4536

上場証券取引所 東京証券取引所

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL : 0120-094-777

会社概要 (2019年3月31日現在)

社名 参天製薬株式会社
本社 〒530-8552
大阪市北区大深町4番20号
創業 1890年
設立 1925年
資本金 8,252百万円
工場 能登、滋賀、他
研究所 奈良研究開発センター、他
従業員数 4,073名 (連結)

参天製薬株式会社



FSC® 認証紙と植物油
インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

株式に関するお手続きについて

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ先

参天製薬株式会社

コーポレート・コミュニケーショングループ

〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号

TEL : 06-6321-7000 (代表)

06-4802-9360 (広報IR)

Email : ir@santen.com

URL : <https://www.santen.co.jp>



ホームページに
最新の情報を掲
載しております。
ぜひご覧ください。